



番町だより

千代田区立番町小学校

No. 6 10月号

令和6年9月27日 発行

イグノーベル賞

校長 傳田 学

2学期が始まり、厳しい残暑が続きました。明日はいよいよ番町大運動会です。子どもたちの躍動する姿をご覧に、ぜひご来校ください。一生懸命頑張る子どもたちが、皆様をお待ちしています。

さて今月12日、東京医科歯科大学の武部 貴則 教授の研究グループに、イグノーベル賞が贈られました。イグノーベル賞とは、1991年にアメリカの科学雑誌が始めたノーベル賞のパロディで、『人々をクスツと笑わせ、考えさせた研究や業績』に贈られるものであり、34年間の歴史の中で日本人研究者・グループの受賞は30回にも及びます。今回の受賞事由は、「多くの哺乳類にお尻から呼吸する能力があることを発見した(2024 生理学賞)」ことです。

日本人の受賞には、「人の発話を妨害する装置 Speech Jammer(スピーチジャマー)を発明した(2012 音響賞)」ことや、「床に置かれたバナナの皮を人間が踏んだときの摩擦の大きさを計測する研究をした(2014 物理学賞)」ことなど、まず笑いが出てしまう研究内容が多いのですが、それだけでは終わらないのがイグノーベル賞のすばらしさです。本年度受賞の武部教授による「お尻呼吸」に関する研究結果を人体の治療に応用した場合、従来の人工呼吸器や人工心肺装置を使った治療に比べて体への負担を軽減できることが見込まれており、人体での臨床試験もすでに始まっているこの「腸換気法」を利用した治療は、2028年ごろにも国内で実現する可能性があるとのこと。イグノーベル賞のおかげで、クスツと笑える以上の恩恵を我々は受けることができそうです。

イグノーベル賞受賞研究の中でも私が一番好きなのが、金沢大学の廣瀬 幸雄 教授(当時)が研究した「ハトに嫌われた銅像の化学的考察(2003化学賞)」にまつわる話です。日本三名園のひとつである兼六園に、まったくハトが寄り付こうとしない建立120年以上の日本武尊の銅像があり、汚れる心配がない像として有名でした。廣瀬教授は、「周りの木にはハトがたくさんとまっているのに、なぜ銅像には寄ってこないのだろうか」と考え、研究を開始します。上野恩賜公園にある西郷隆盛像の成分との比較・検証を重ねた結果、ハトなどの鳥類が遠ざけようとする化学成分を突き止めることに成功し、その後のカラス除け合金の開発へとつながったそうです。すばらしい研究成果です。

「お尻呼吸」の武部教授は受賞に際し、「研究をしても一定の評価をされないとき長く続けられない面がある中、今回の受賞は大きな意義があると思う。『変なことをやっても大丈夫だ』という勇気をもたらした気がするので、これからも変わった視点から研究を続けたい」と話しています。自分の感じた「へんだなあ」「なんでだろう」を追究し続ける心の強さを見習いたいと、強く感じる次第です。どのようなジャンルでも、世間の常識をよい意味で打ち破り、人類の発展に貢献することができる子どもを育てたいものです。残り6か月、今年度の教育活動へのご協力をお願いします。

10月の目標	生活目標	落ち着いて学習に取り組もう
	保健目標	目を大切にしましょう
	給食目標	当番に協力して楽しく食事をしよう

【スクールカウンセラー来校日】

◎都 3(木)、10(木)、17(木)、24(木)

【発達支援アドバイザー来校日】

29(金)午後

*面談を希望される方は、担任または副校長へお知らせください。

10月の行事予定

10月	曜	朝会 時程	行事予定
1	火		都民の日
2	水	全朝	
3	木		校外学習(2年)
4	金	安全	安全指導 委員会(6年卒業アルバム撮影)
5	土		
6	日		
7	月	全朝	孀恋事前健診(5年)
8	火		孀恋自然体験教室(5年)1日目
9	水		孀恋自然体験教室(5年)2日目 スーパー出前授業(3年)
10	木		孀恋自然体験教室(5年)3日目
11	金		避難訓練(消火器訓練)
12	土		
13	日		
14	月		スポーツの日
15	火	集会	セーフティ教室(4年) 秋の視力検査週間(希望者)~18日
16	水		セーフティ教室(3年) 4時間授業 校外学習(6年)
17	木		
18	金		クラブ(6年卒業アルバム撮影)
19	土		
20	日		番町いのちの日
21	月	集会	
22	火		なかよし子ども会
23	水		4時間授業
24	木		佐々木隊長フィールドワーク(1年)
25	金		校外学習(3年) 佐々木隊長フィールドワーク(2年)
26	土		
27	日		
28	月	全朝	校外学習(6年)
29	火		発田先生来校日(午後)
30	水		学芸会係活動
31	木		
1	金	安全	安全指導 ハイパーQU 委員会
2	土		
3	日		文化の日

異学年交流で育まれる力

特活主任

特別活動は、集団活動を通して、豊かな人間性や社会性を育むことを目指しています。その活動の1つとして、番町小学校では、毎年、1年生から6年生までの縦割りで班を形成し、「なかよし子ども会」の活動を行っています。6年生が中心となって遊びを決め、班のみんで遊びます。

話し合いでは、6年生が下級生を気遣いながら、積極的にリードする姿が見られています。楽しく遊ぶために必要な、他者と協力することやルールを守ること、役割を果たすことなども、活動を通じて自然と身に付けています。低学年は、班をリードする高学年の姿にあこがれをもって見つめ、そのような姿勢を学びとっています。

特別活動を通して育まれる力はこれから生きていく子どもたちにとってなくてはならないものです。充実した活動になるよう、指導してまいります。

BJB 今年度初お披露目

音楽専科

番町子ども会オープニングで演奏の機会をいただきました。

今回演奏した曲は、昨年度 BJB 発表集会で演奏した楽曲中の 2 曲でした。昨年度からいたメンバーにとっては、馴染みの曲でしたが、今年度、新たにメンバーを迎え、自分たちで協力して練習をし、コツコツ作りあげてきました。

昨年は、皆初めてのことばかりで、演奏に限らず準備、片付け等、指示を待っての行動でしたが、2年目となったメンバーの動きは自らやるべき事を見つけて行動しており、感心いたしました。

自分のパートを自信をもって演奏できるようになること、周りのパートの音をしっかり聴くこと、息を、行動を合わせること。それぞれ意識して、また成長した演奏を聴いていただけるように、これからも力を合わせて BJB の音をつくってまいります。

▼ ホームページは QR コード、またはキーワードで検索を ▼

<http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310163>

番町小 トップ

